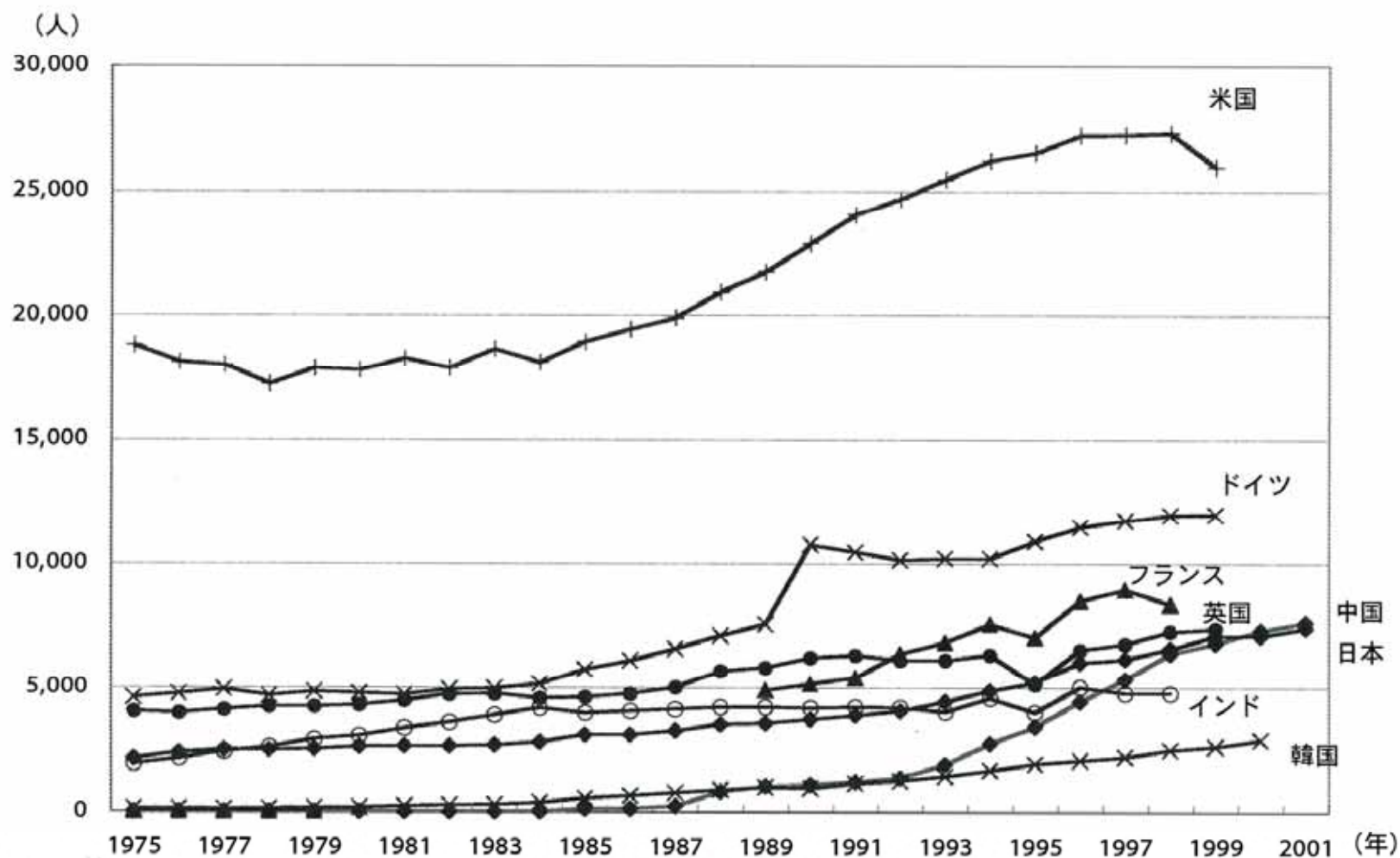


日本におけるポストドクターの現状

東京大学分子細胞生物学研究所

宮島 篤

図 3-1-4: 主要国の博士号取得者数 (科学技術系) の推移



出典: NSF “Science and Engineering Indicators 2002”, 同 2004 より作成

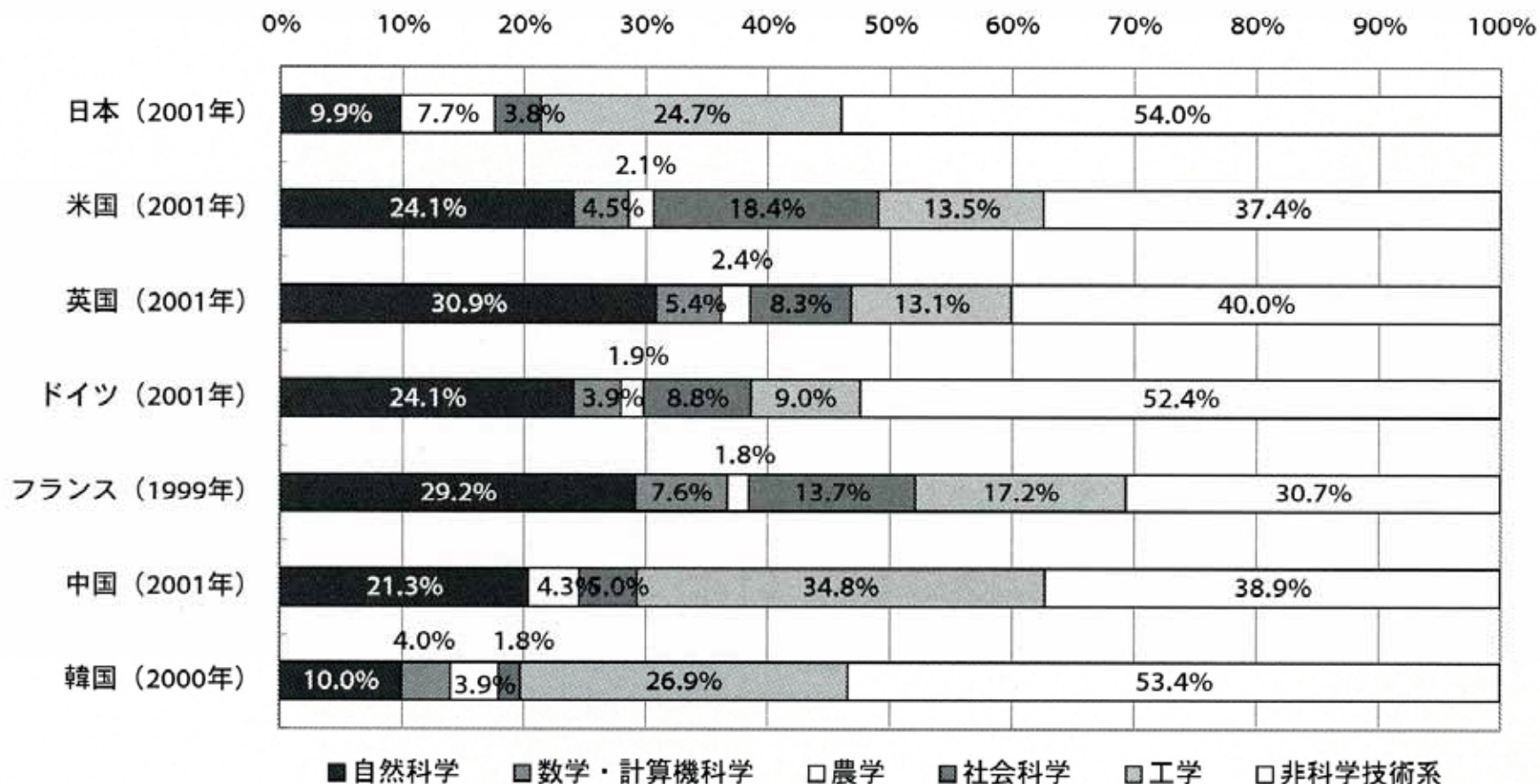
注 1: 科学技術系には「社会・行動科学」、「生物学・農学」、「工学」、「物理学・地球物理学」、「数学」、「計算機科学」が含まれる。

注 2: 日本の値は論文博士を含む。

注 3: 外国人に与えた博士号を含む。

2005 科学技術政策研究所
三菱総研

図 3-1-5: 主要国の博士号取得者の専門分野別割合



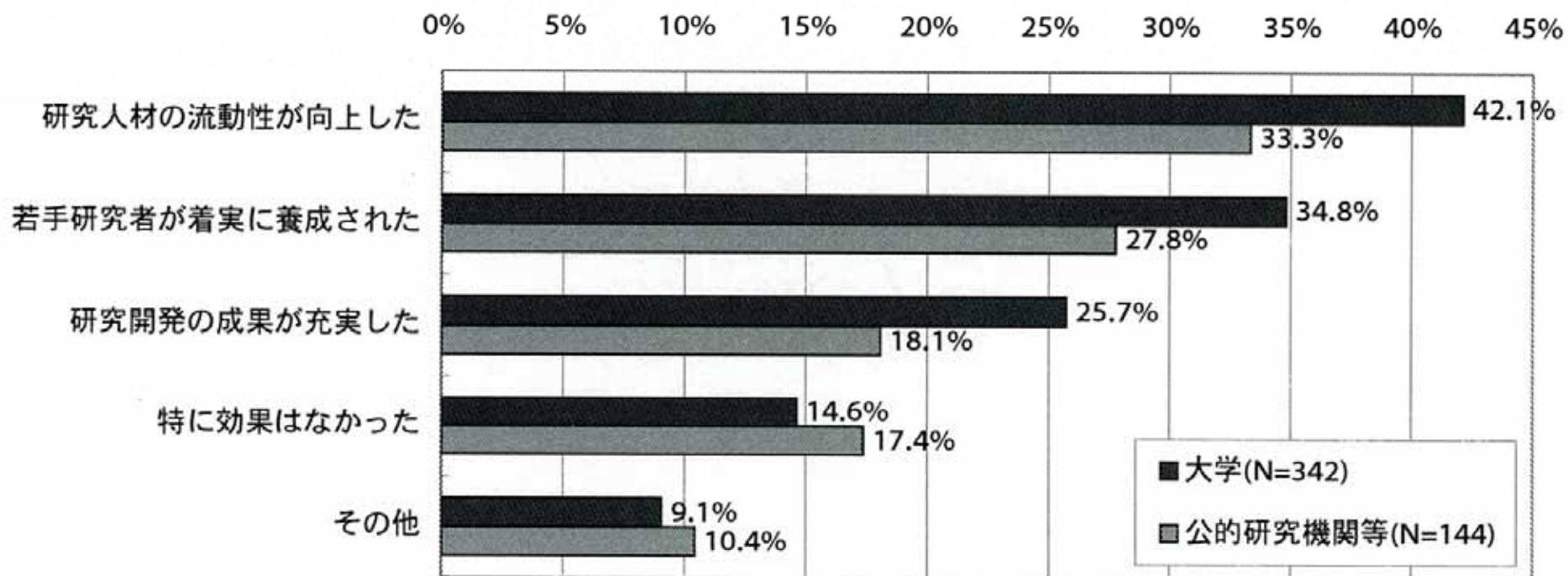
出典: NSF “Science and Engineering Indicators 2004” より作成

注 1: 「自然科学」は物理学、生物学、地球・大気科学、海洋科学を含む。

注 2: 保健分野は「非科学技術系」に分類されている。

図 3-3-16: 「ポストドクター等 1 万人支援計画」の効果
(ポストドクターを受け入れている研究マネージャー)

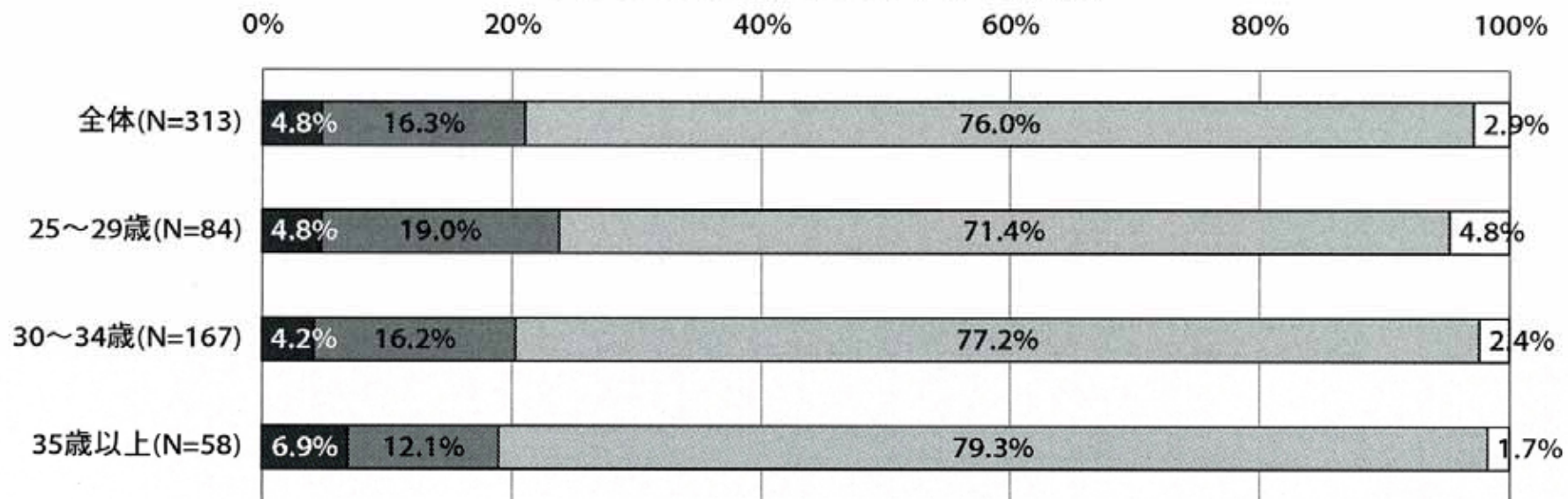
「ポストドクター等 1 万人支援計画」はどのような点で日本の研究開発に効果があった
と思いますか。(受け入れているマネージャー、AB2-12)



(複数回答可)

図 3-3-26: ポスドク期間終了後の雇用形態に対する希望 (ポストドクター)

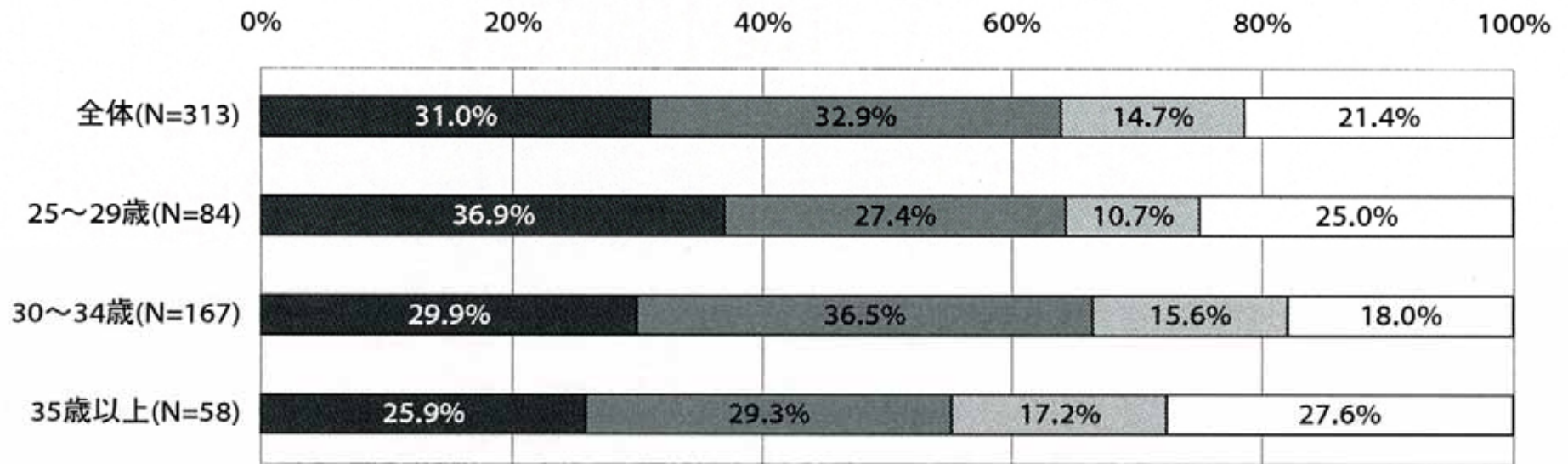
(ポストドクター期間終了直後に「研究業務」に従事したい方) どのような立場で従事することを希望しますか。(EA-24)



■ポストドクターとして □任期付きの職員または教員として □終身雇用型の職員または教員として □その他

図 3-3-27: ポスドク期間終了後の雇用形態の見込み (ポストドクター)

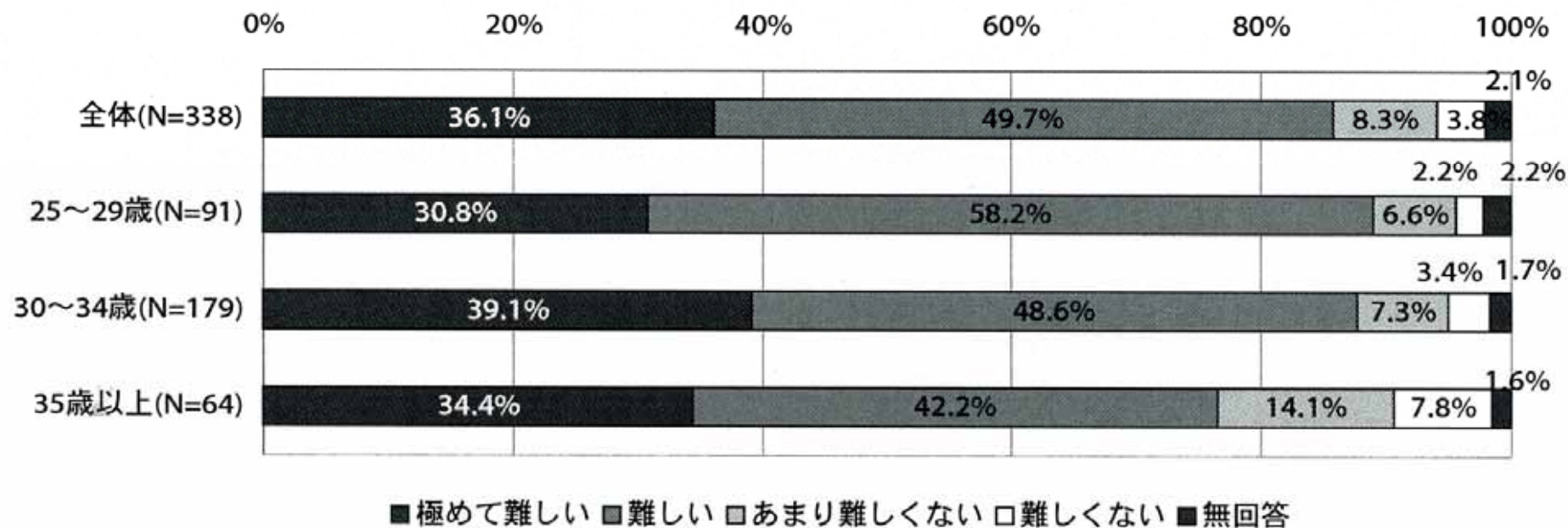
(ポストドクター期間終了直後に「研究業務」に従事したい方) 実際にはどのような立場で従事する見込みですか。(EA-25)



■ポストドクターとして ■任期付きの職員または教員として □終身雇用型の職員または教員として □わからない・その他

図 3-3-28: ポスドク期間終了後の就職難易 (ポストドクター)

あなたは、ポストドクター期間終了後に次のポストを獲得することの難易について、どのような見通しを持っていますか。(E-A28)



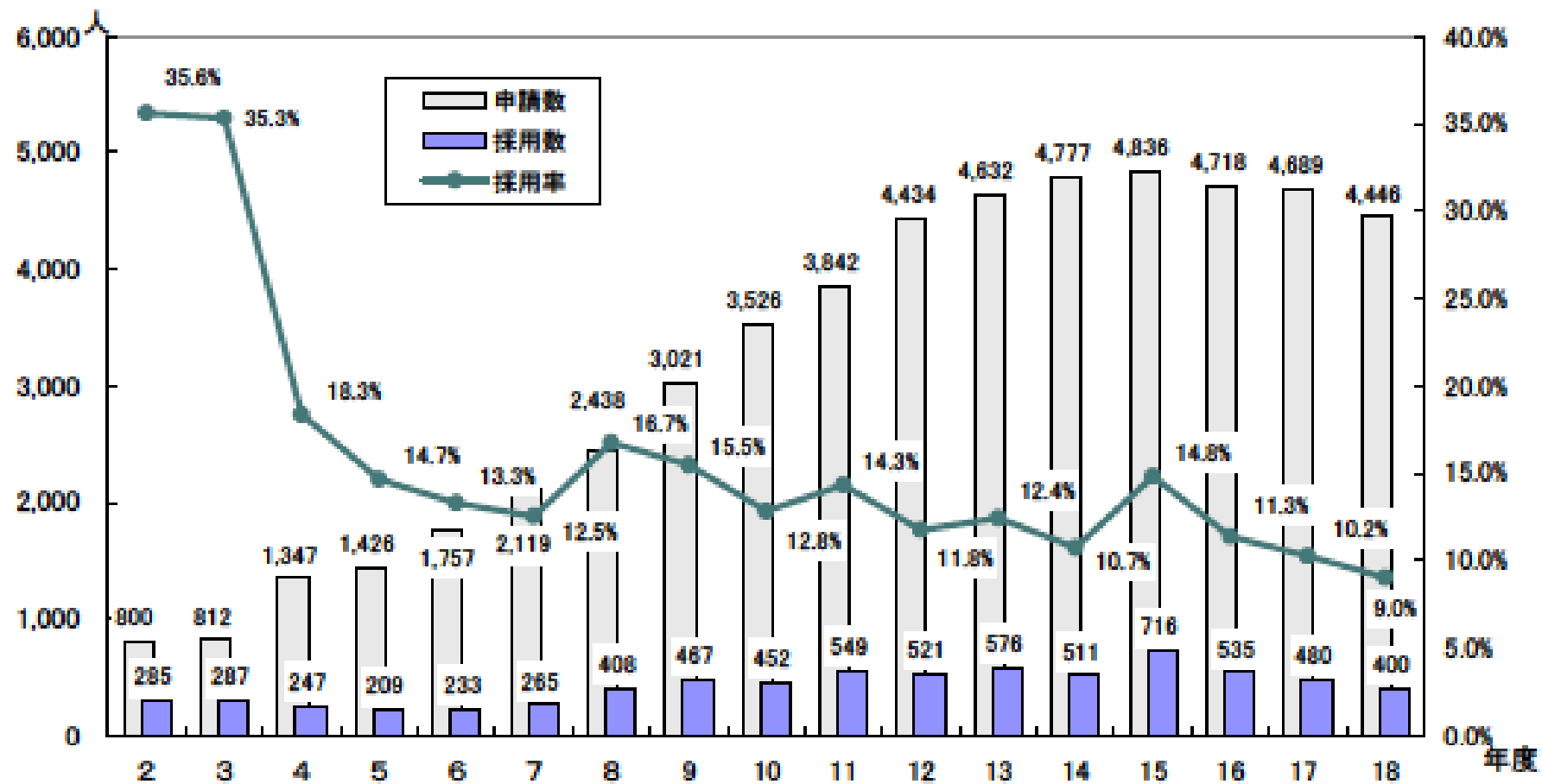


図 1. 特別研究員－PD の申請者数、採用者数及び採用率の推移(平成 2－18 年度)



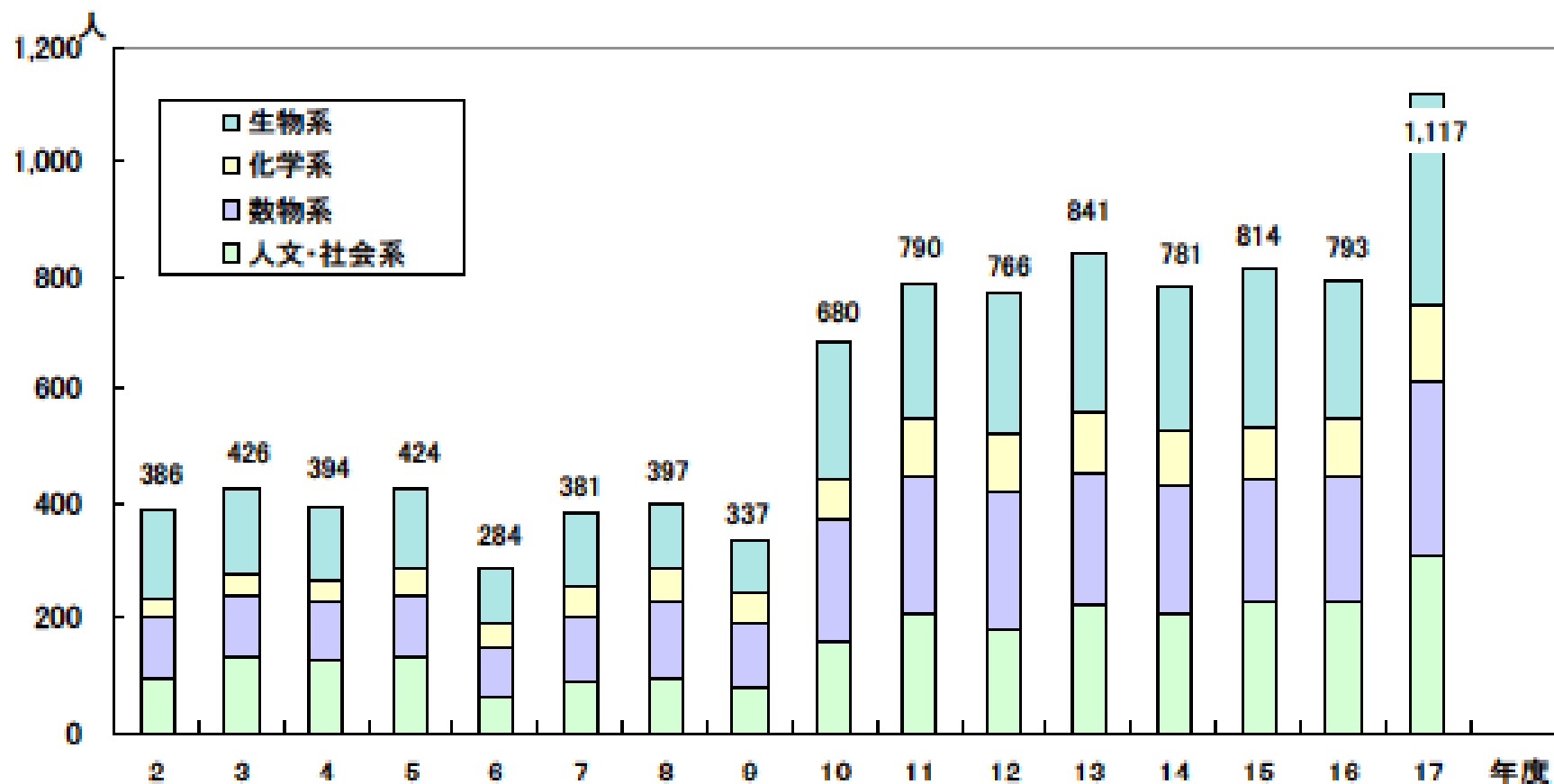


図 2. 特別研究員-PD の終了者数の推移(平成 2-17 年度)



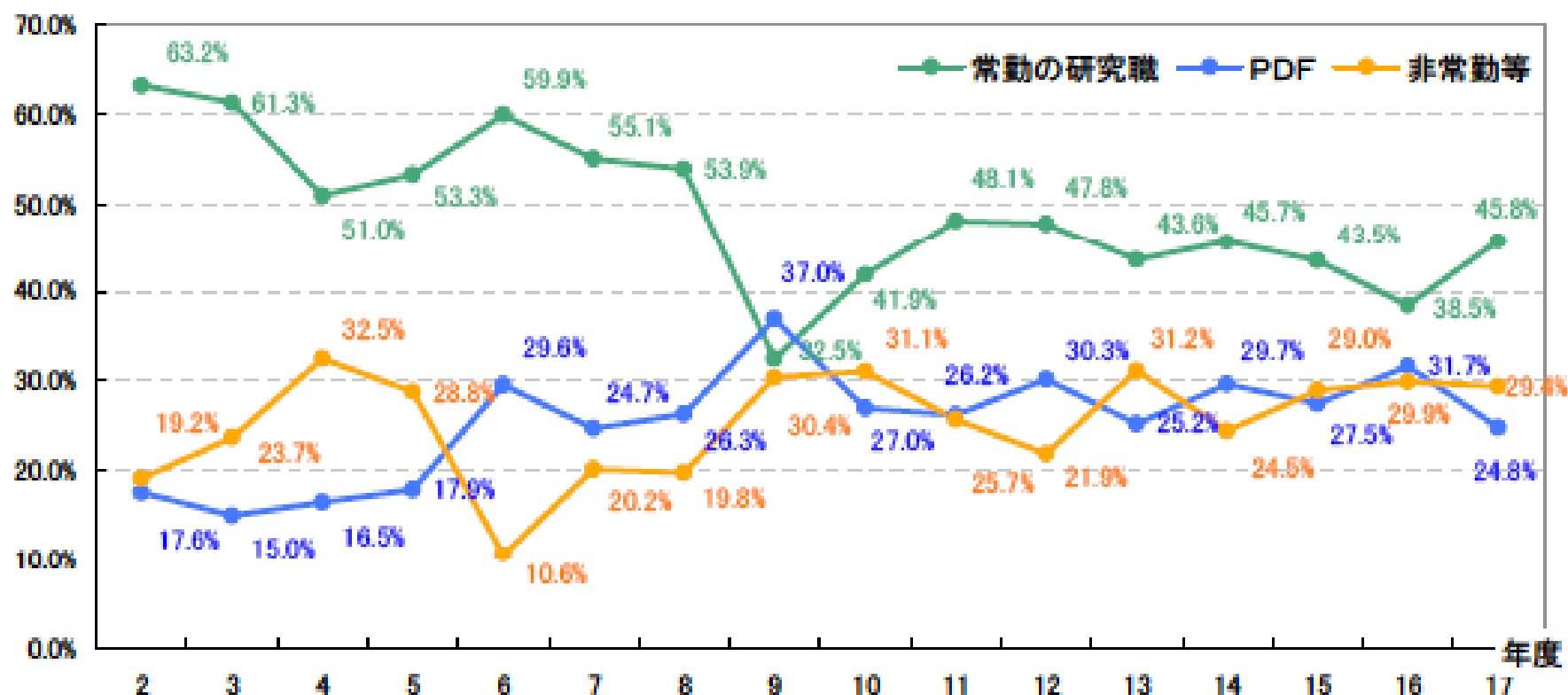


図4. 採用期間終了「直後」における「常勤の研究職」、「ポストフェロー」及び「非常勤の研究職等」の割合の推移(平成2年度～17年度)



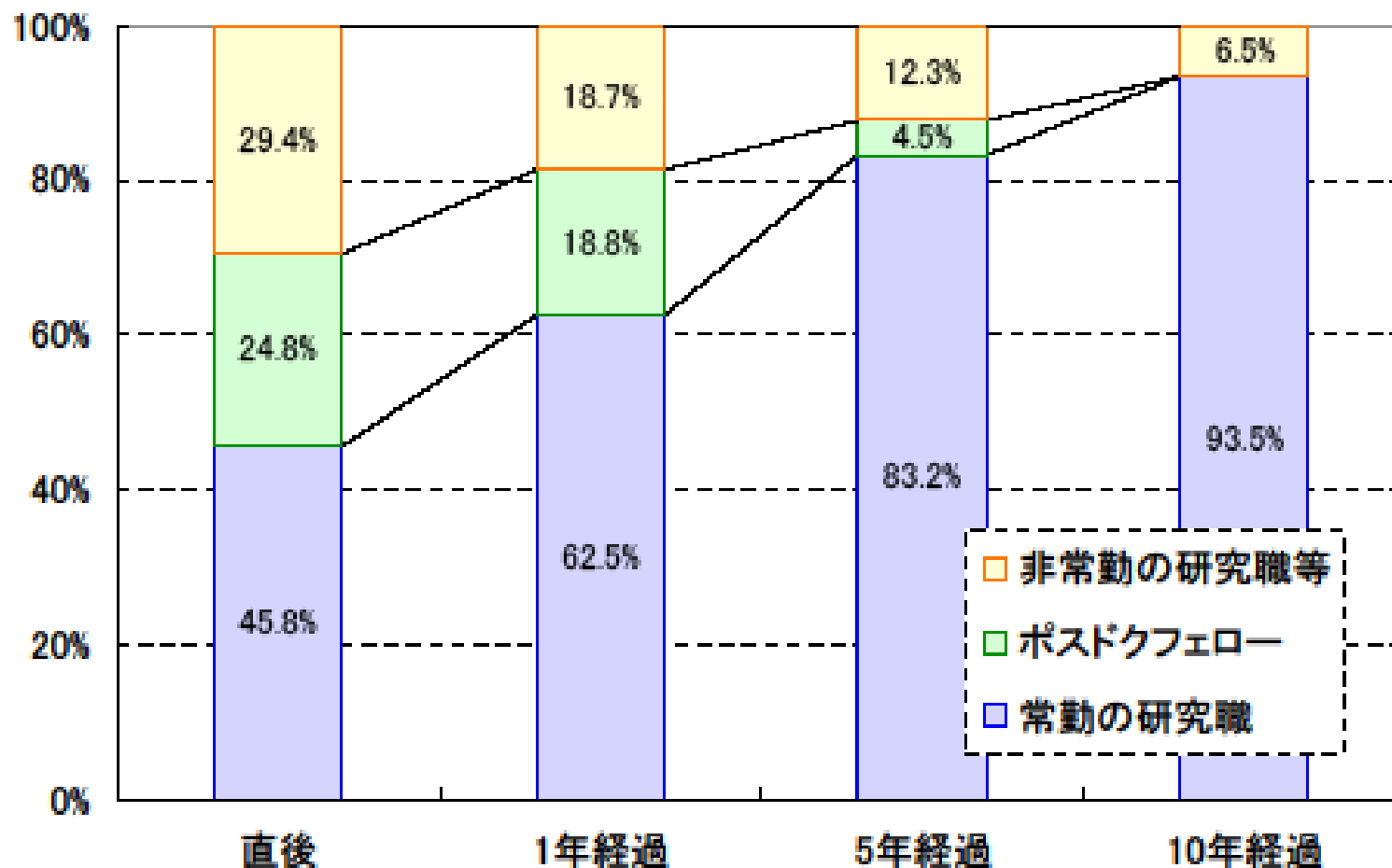


図3. 就職状況の経過年別の推移(割合)



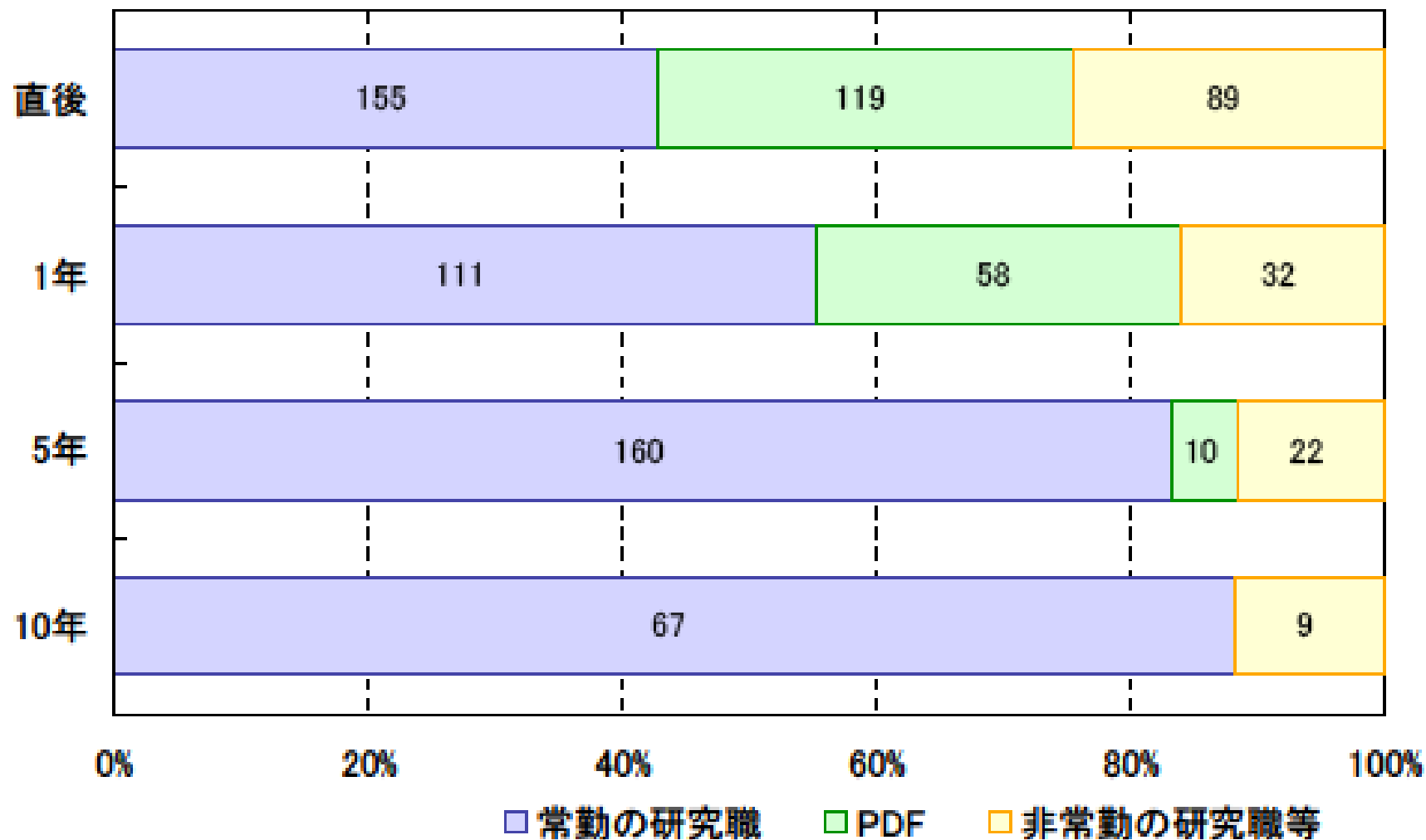


図12-4 生物系の終了年別の就職状況



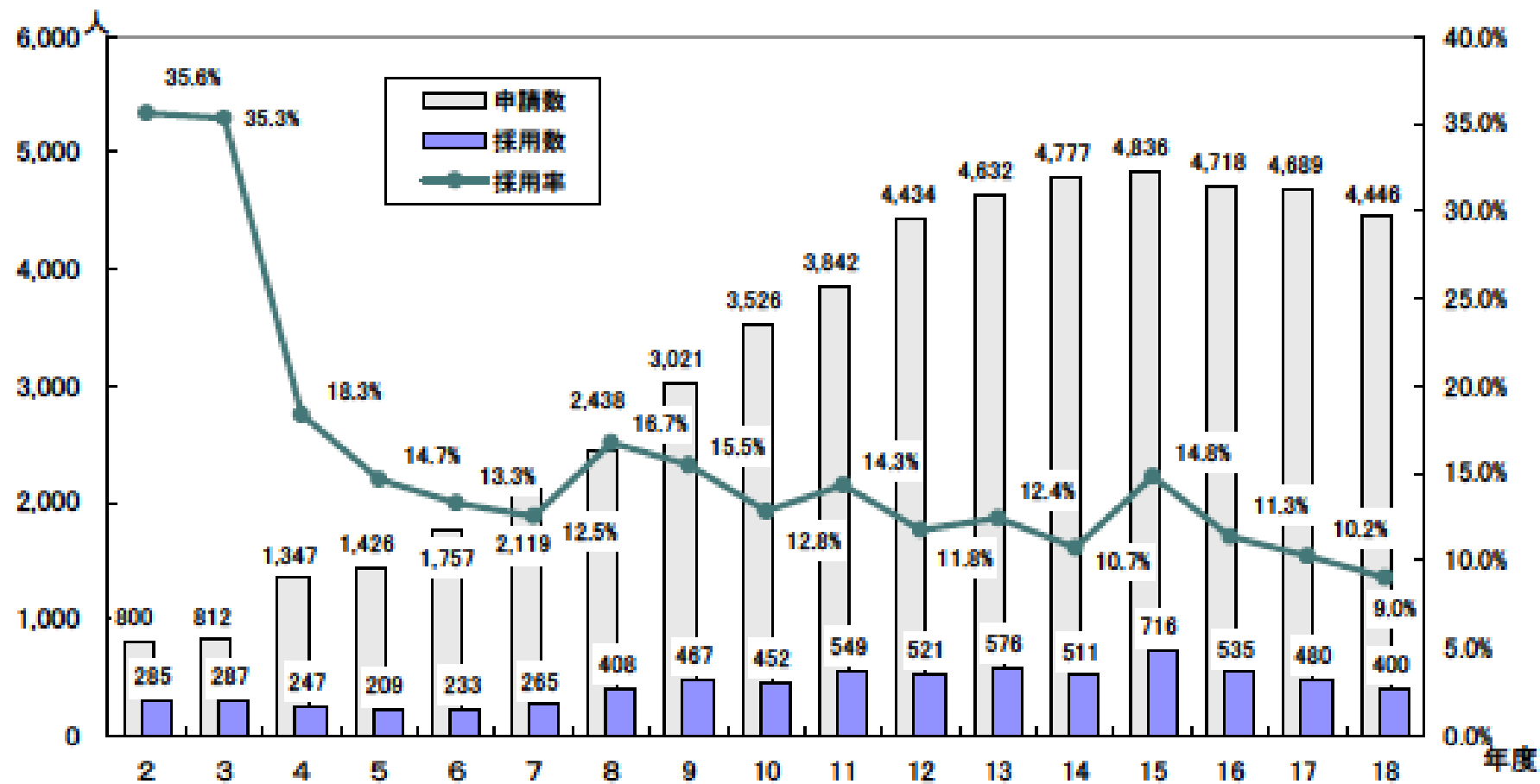
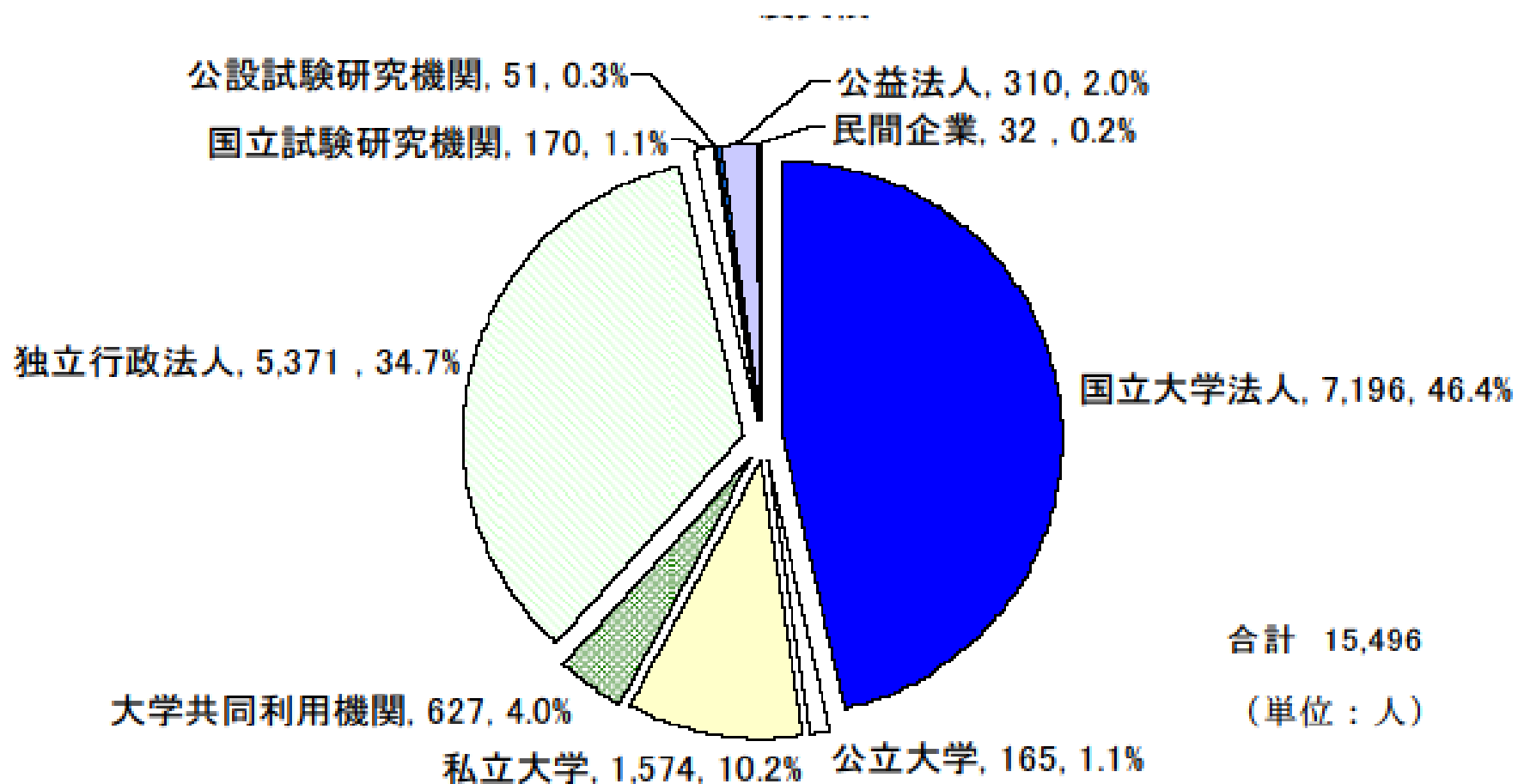


図 1. 特別研究員一PD の申請者数、採用者数及び採用率の推移(平成 2-18 年度)

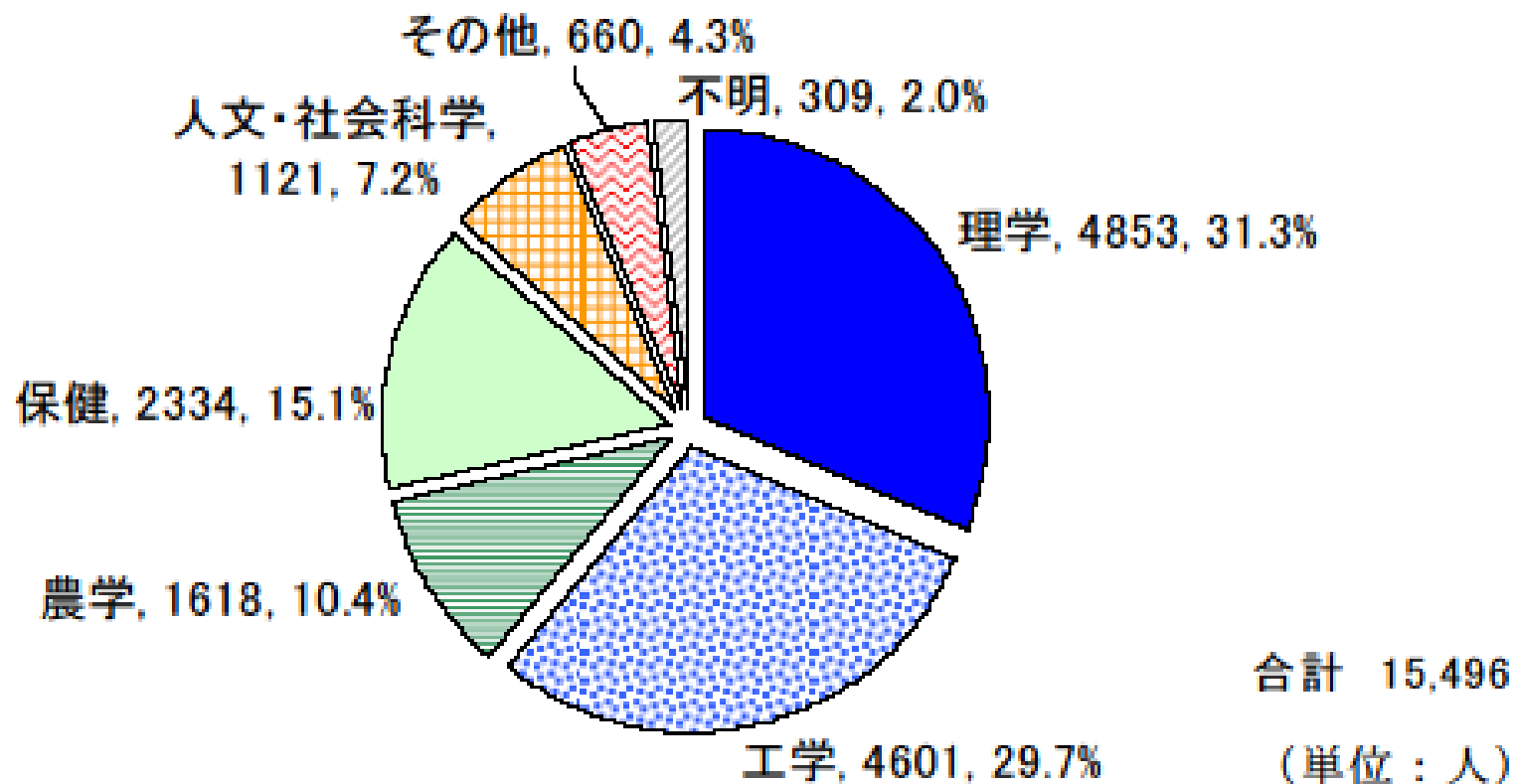


第2-1図 ポストドクター等の機関種別内訳（平成17年度実績）



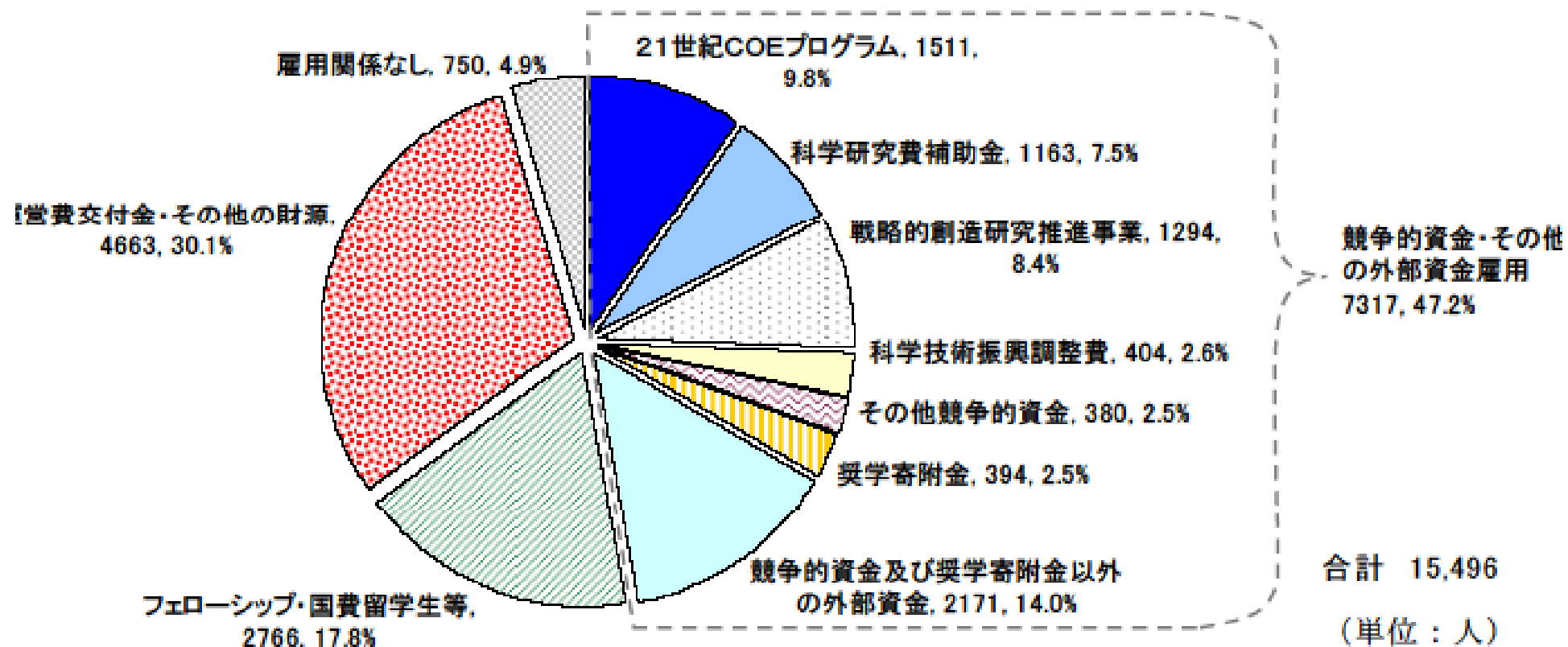
文部科学省 科学技術政策研究所
大学・公的研究機関等における
ポストドクター等の雇用状況調査

第2-6図 ポストドクター等の分野別雇用者数（平成17年度実績）



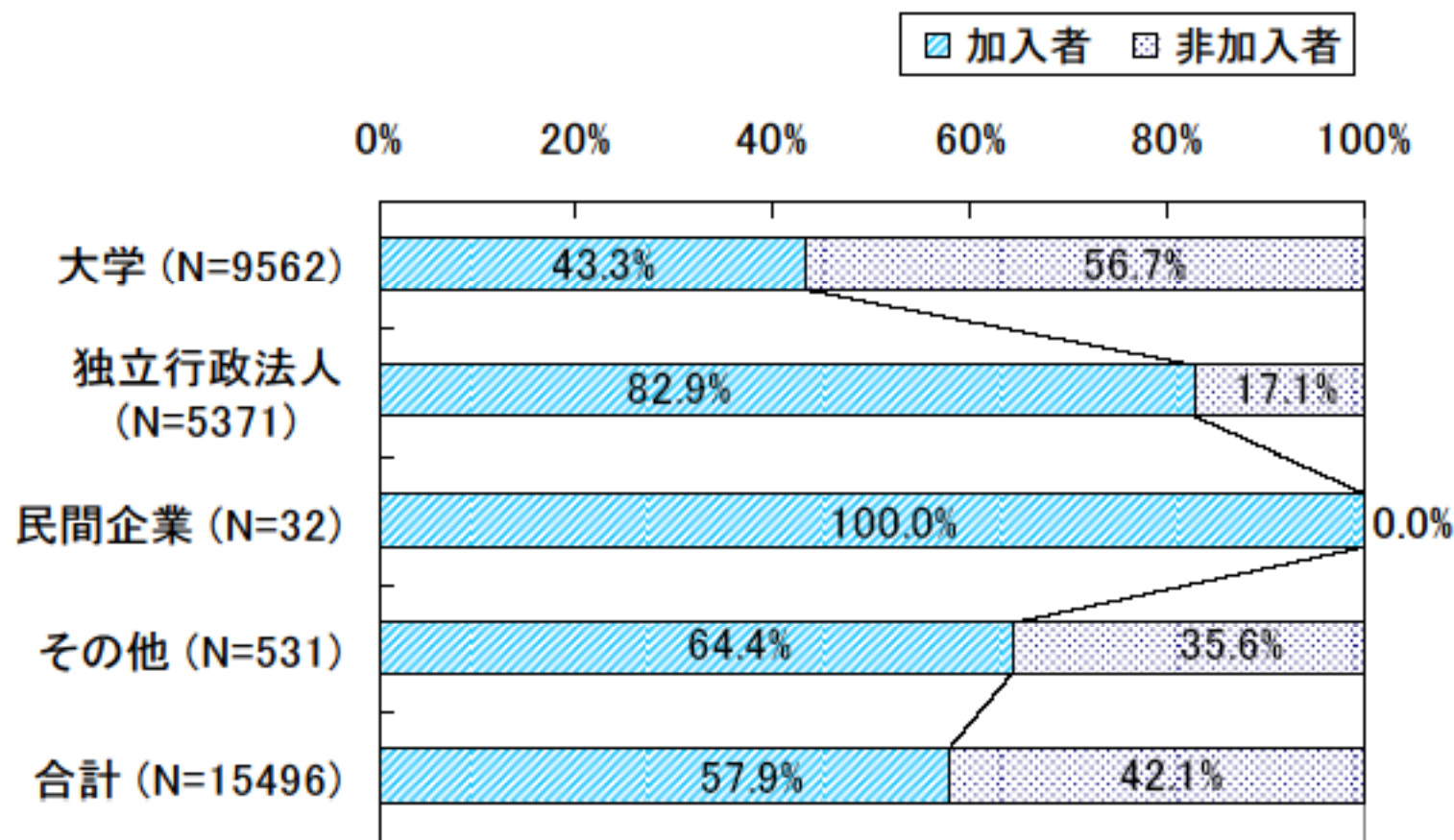
文部科学省 科学技術政策研究所
大学・公的研究機関等における
ポストドクター等の雇用状況調査

第2-2図 ポストドクター等の財源別内訳（平成17年度実績）



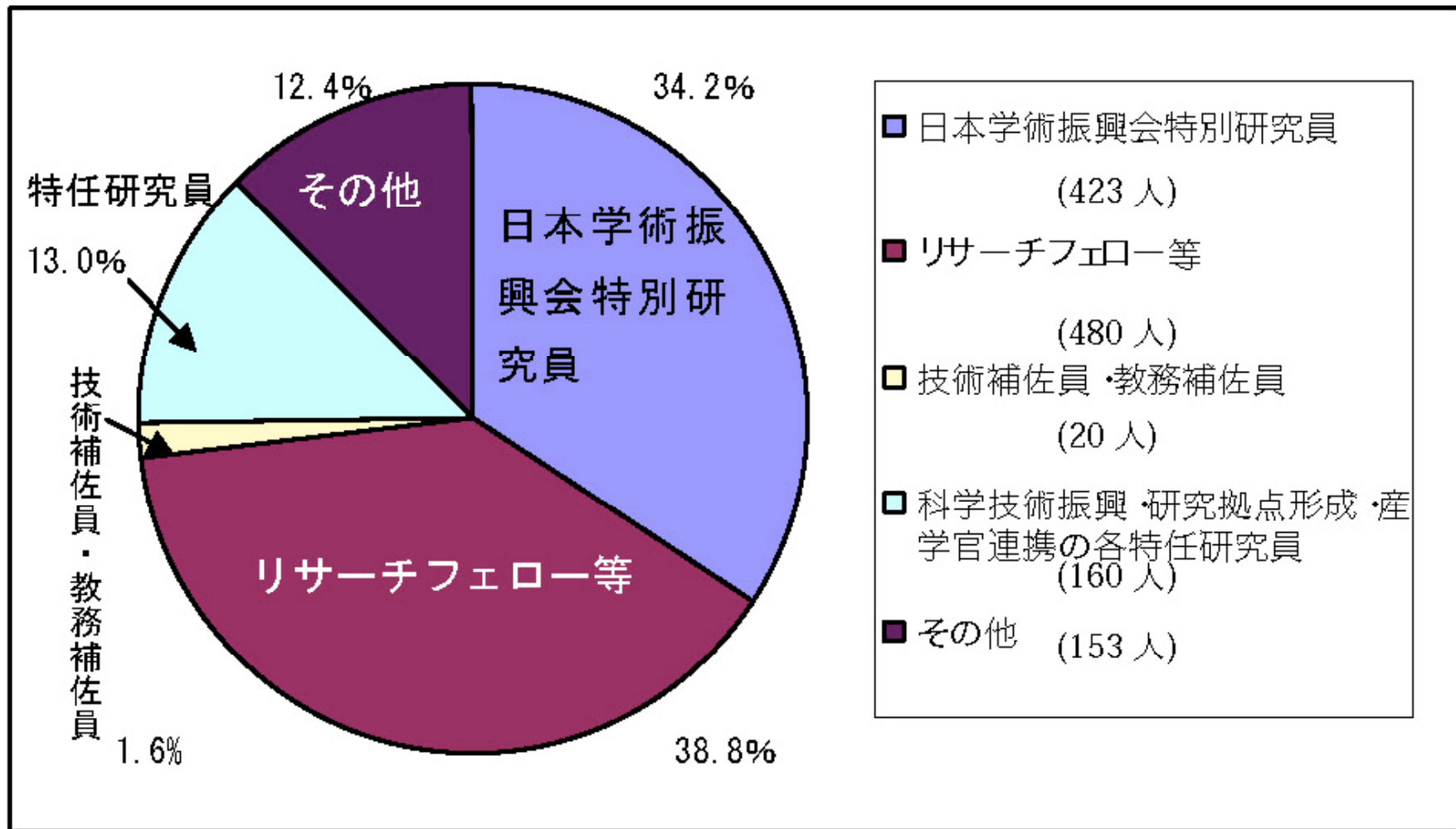
文部科学省 科学技術政策研究所
 大学・公的研究機関等における
 ポストドクター等の雇用状況調査

第2-5図 ポストドクター等の社会保険加入者（事業者負担対象者）数
（平成17年度実績）



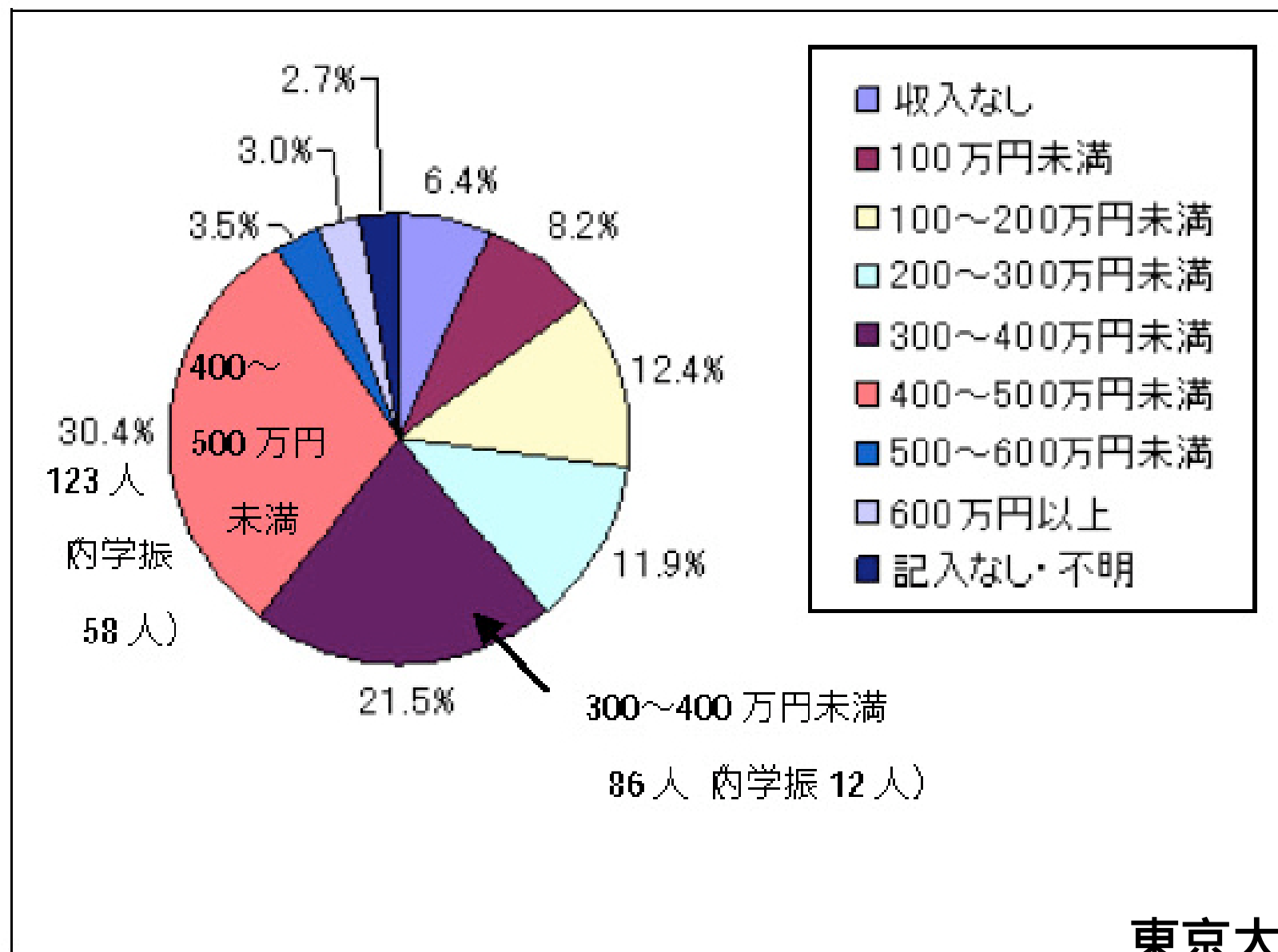
文部科学省 科学技術政策研究所
大学・公的研究機関等における
ポストドクター等の雇用状況調査

■雇用されている職名



東京大学

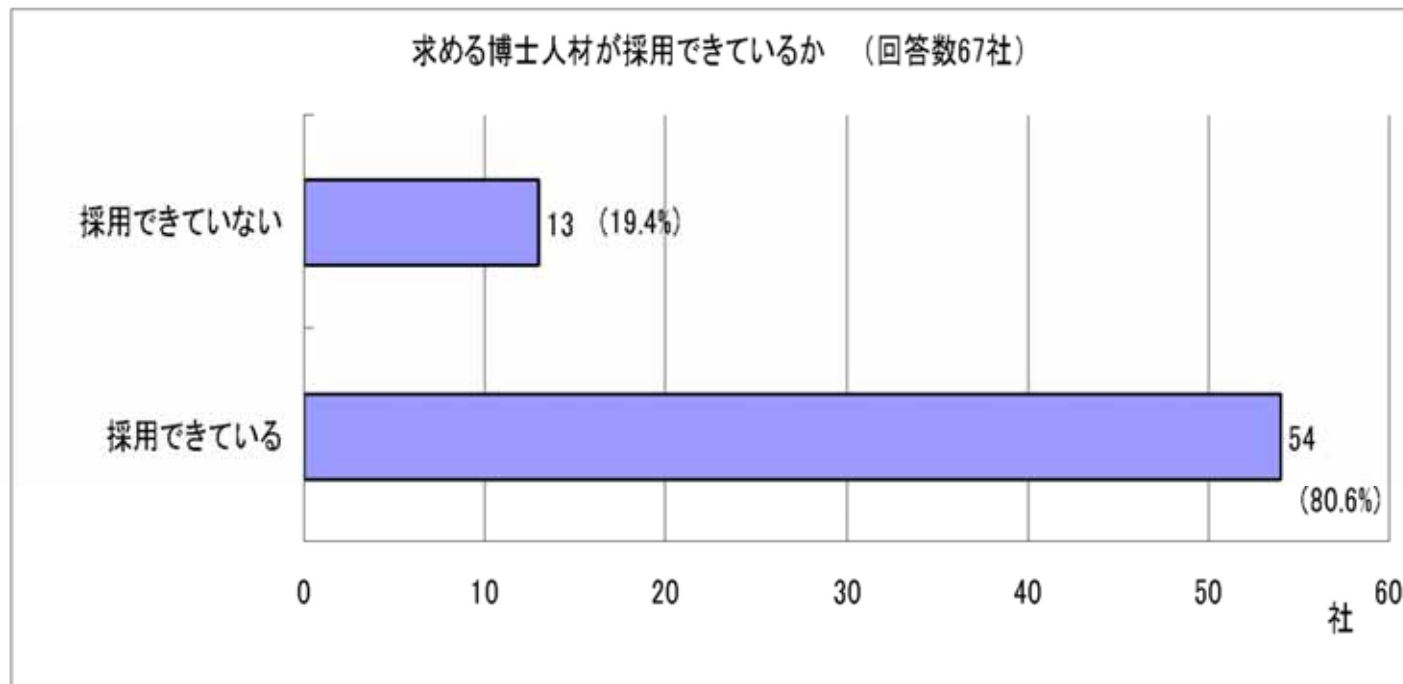
■ 年収 最多年収額 400-500 万円未満



III 博士課程修了者の状況について

3. 博士課程修了者の採用について

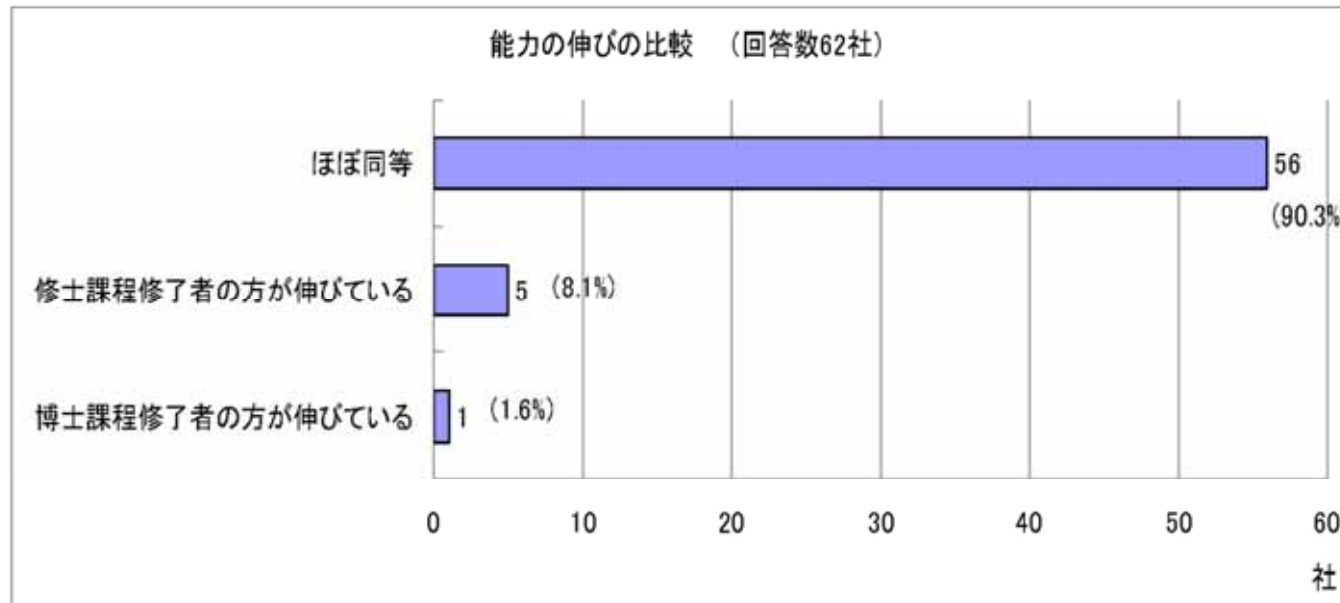
□ 約81%の企業が「求める人材を採用できている」と回答



III 博士課程修了者の状況について

②同年齢の修士課程修了者と比較した場合の博士課程修了者の能力の伸びについて

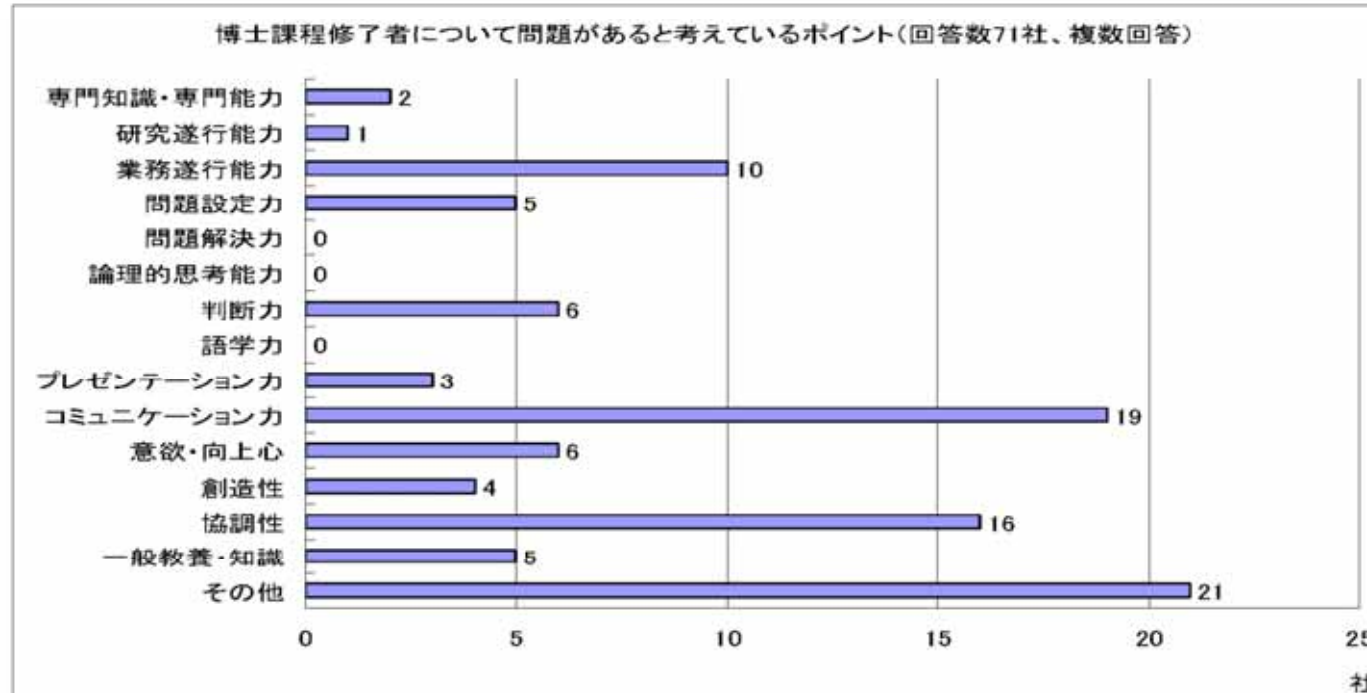
□ 約90%の企業が「ほぼ同等」と回答



Ⅲ 博士課程修了者の状況について

④博士課程修了者について問題があると考えているポイント

□ 「コミュニケーション力(19社)」「協調性(16社)」「業務遂行能力(10社)」に問題があると考えている企業が多い



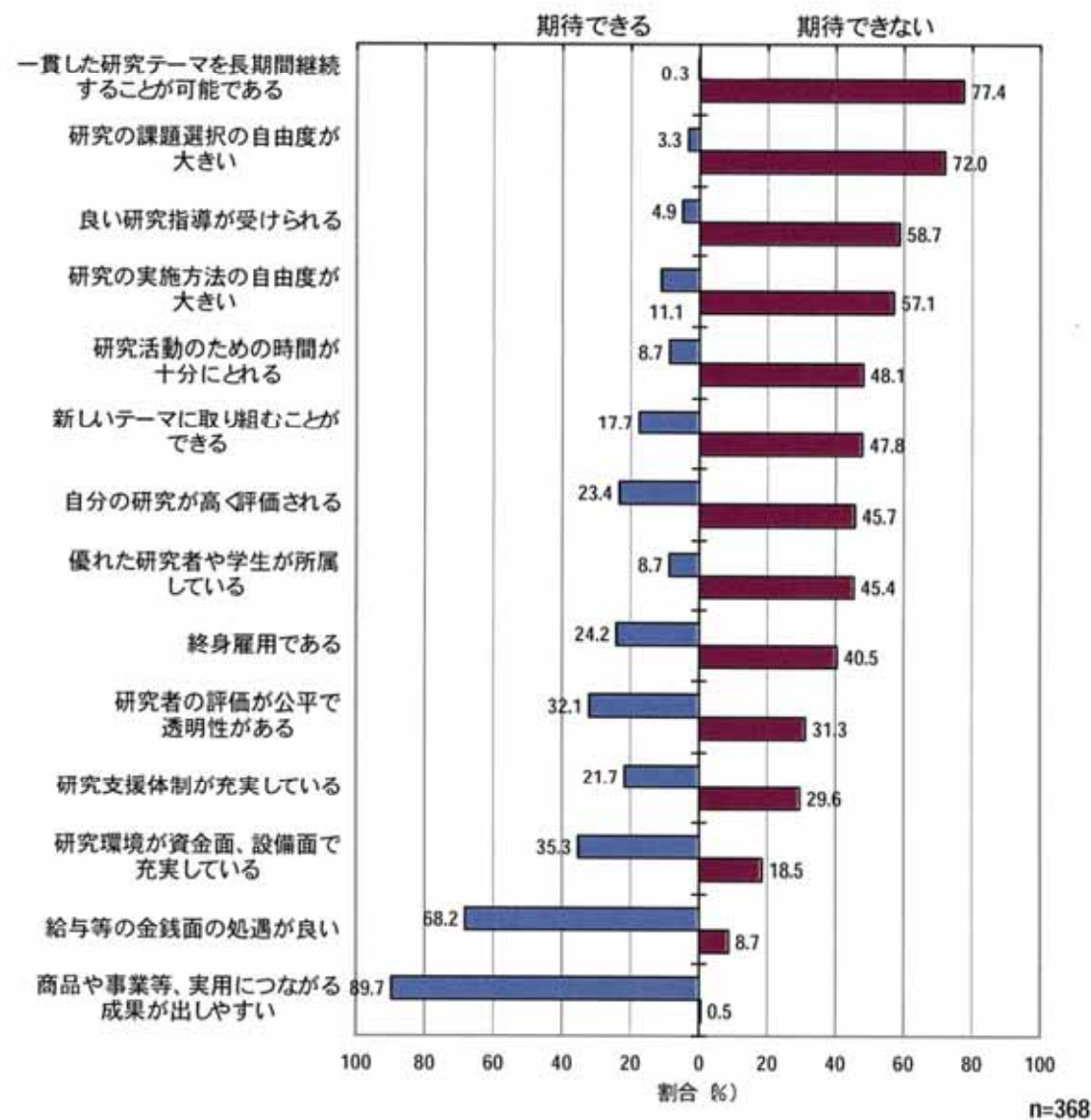
V 大学院博士課程について

- 現在の大学院博士課程における研究・教育の問題点、改善すべき点
 - ・研究に偏っており、教育重視にシフトしてもらいたい
 - ・企業との関連を考えられる産学共同研究を進めてほしい
 - ・企業活動において必要とされる実践的な研究システムに対応できるカリキュラムを構築してもらいたい
 - ・産学の接点が少なく、ほとんどの大学で研究者養成のみになっている
 - ・研究遂行能力、課題形成力を伸ばす教育カリキュラムや指導指針の作成。また、それに応じた評価、指導を行ってほしい

V 大学院博士課程について

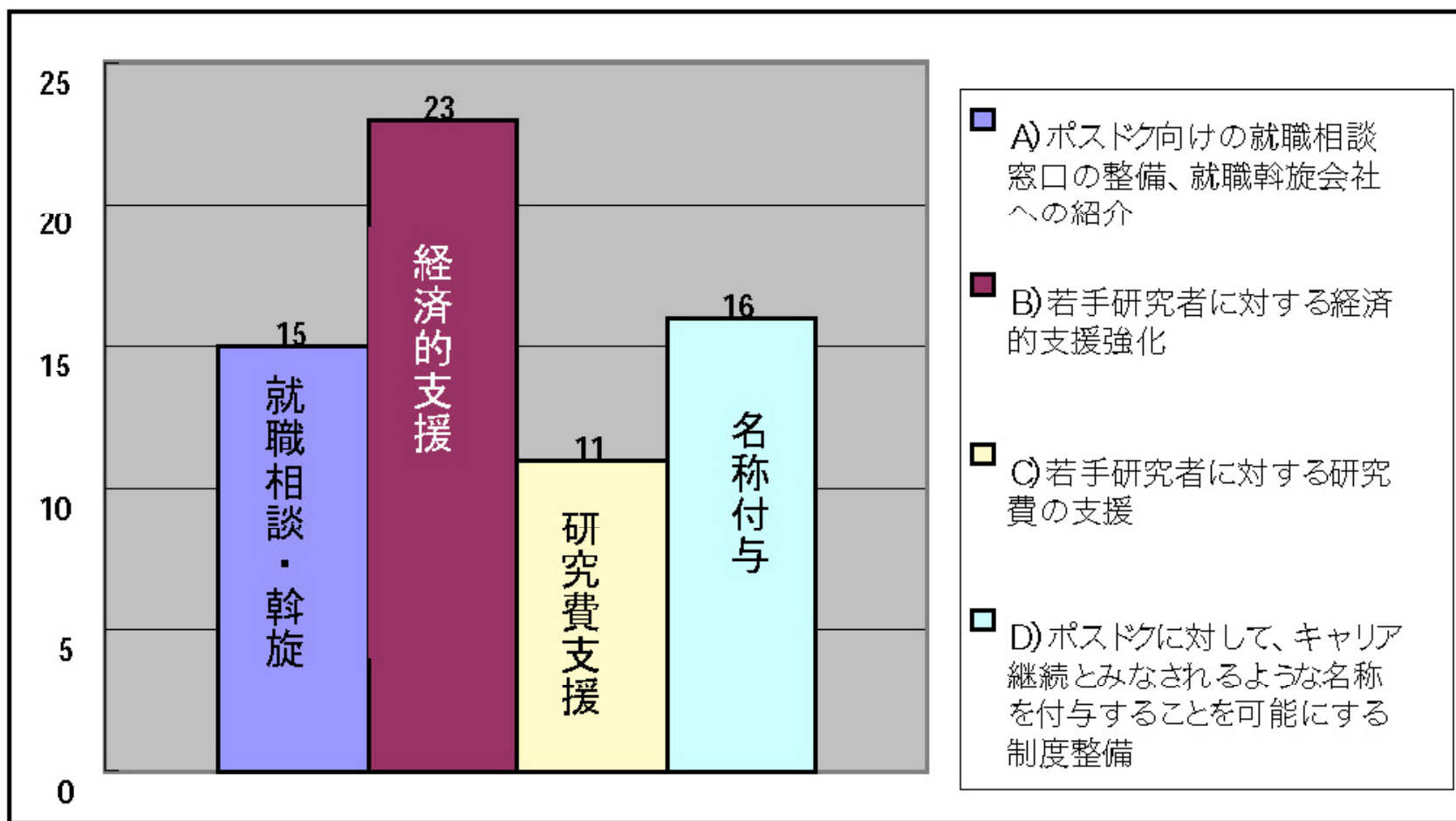
- 大学院博士課程において教育してほしい項目、その他、大学への要望等
 - ・高度な専門性に加えて、対人関係能力や広い視野等の人間力について教育してもらいたい
 - ・専門性を伸ばすカリキュラムだけではなく、専門以外の幅広い基礎知識(心理学や経済学、法学等)を身につけてもらいたい
 - ・社会人としての教養、マナー、基本的なコミュニケーションのとり方を学ばせてほしい
 - ・現在の人事制度においては、スペシャリストの側面だけで昇進・昇格することに限界がある。ゼネラリストやマネジメントの側面も重視してもらいたい

図表15 日本の博士課程学生から見た企業のイメージ



データ：科学技術政策研究所、㈱三菱総合研究所「これからの人材育成と研究の活性化のためのアンケート調査（2004年8月）」より作成

■ポスドクに対する支援策として、特に必要性が高いと思われるもの (2つ選択)



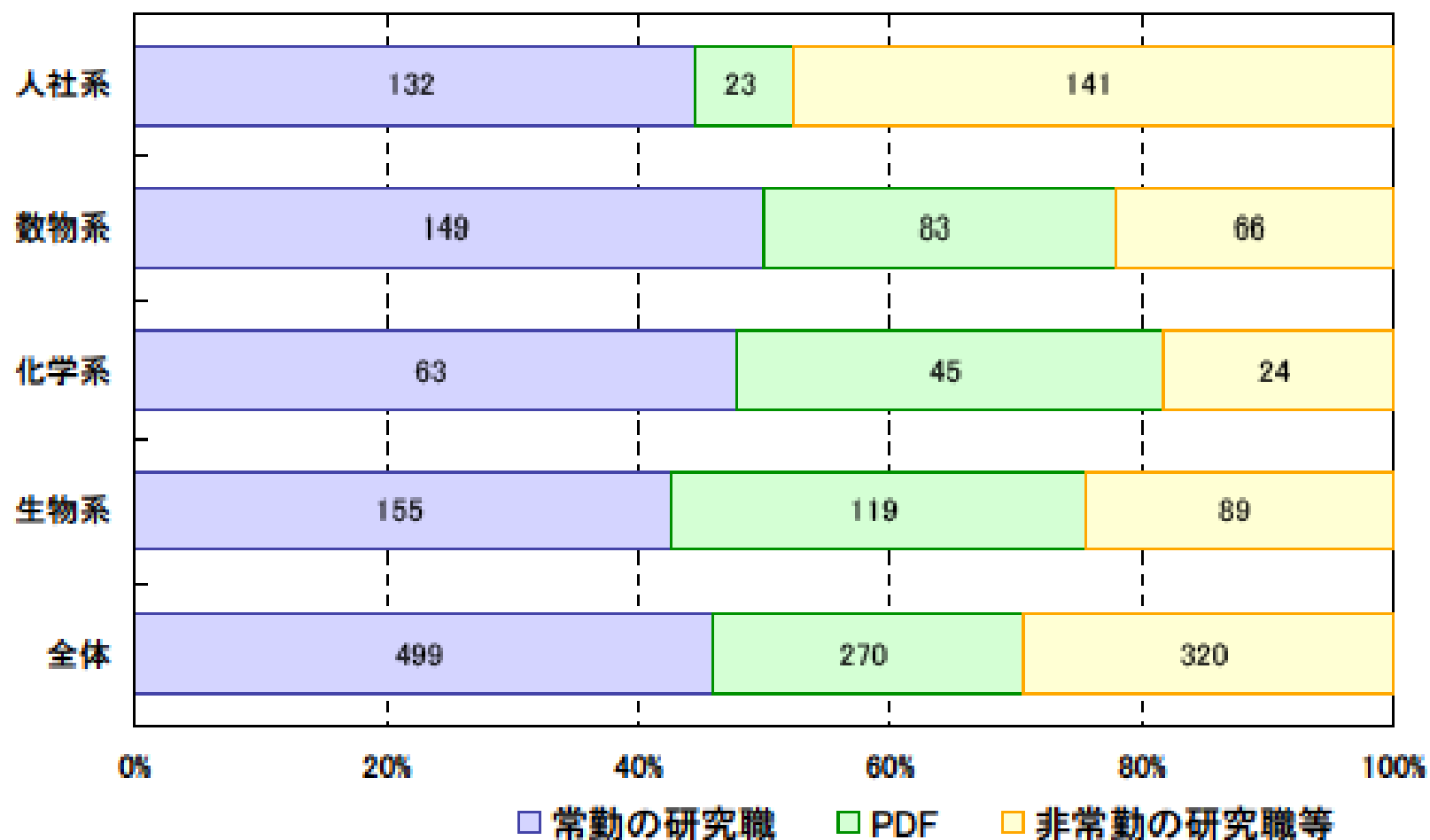
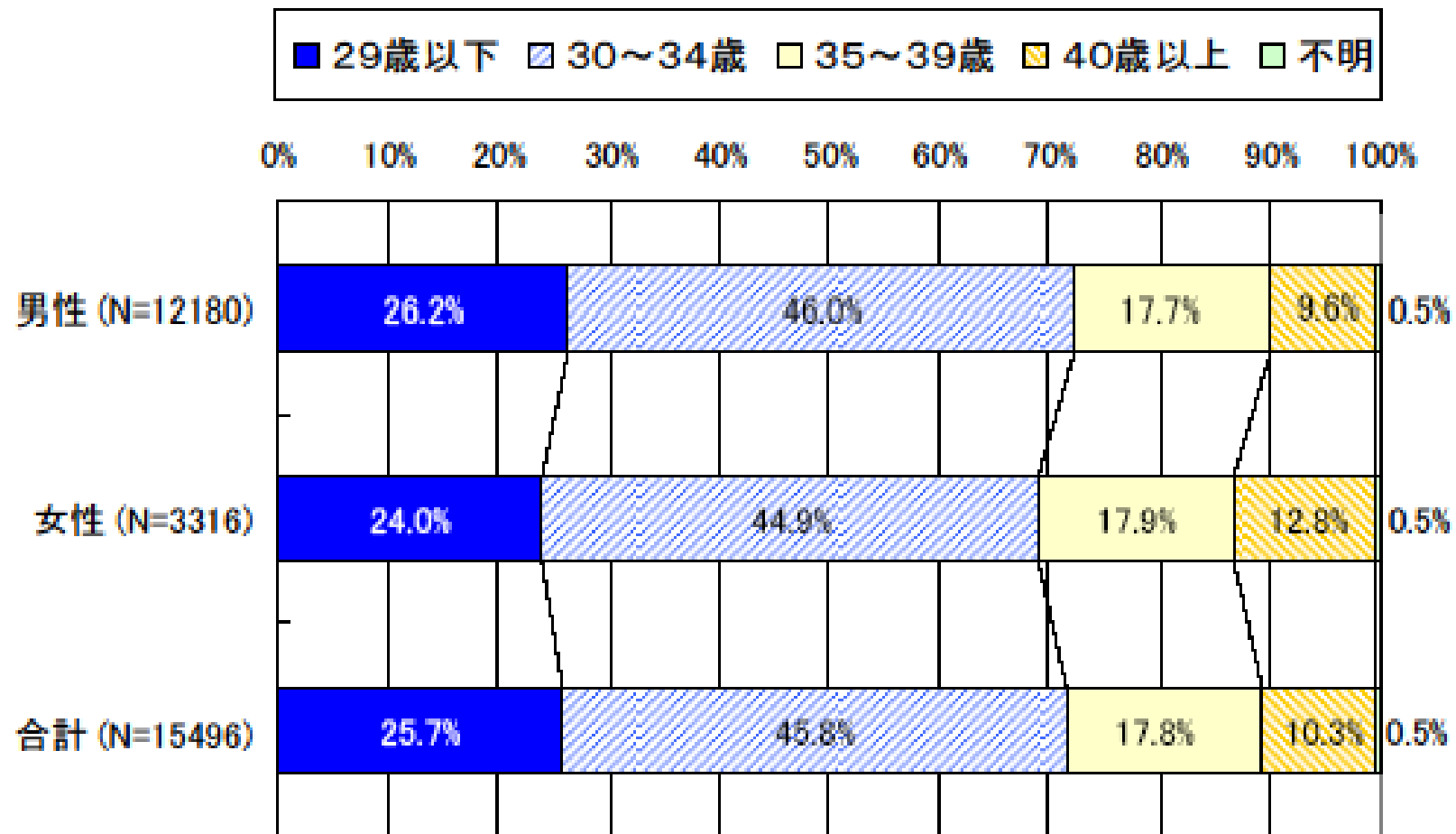


図8 平成17年度終了者(終了直後)の系別就職状況



第2-3図 ポストドクター等の男女別年齢構成（平成17年度実績）



文部科学省 科学技術政策研究所
 大学・公的研究機関等における
 ポストドクター等の雇用状況調査

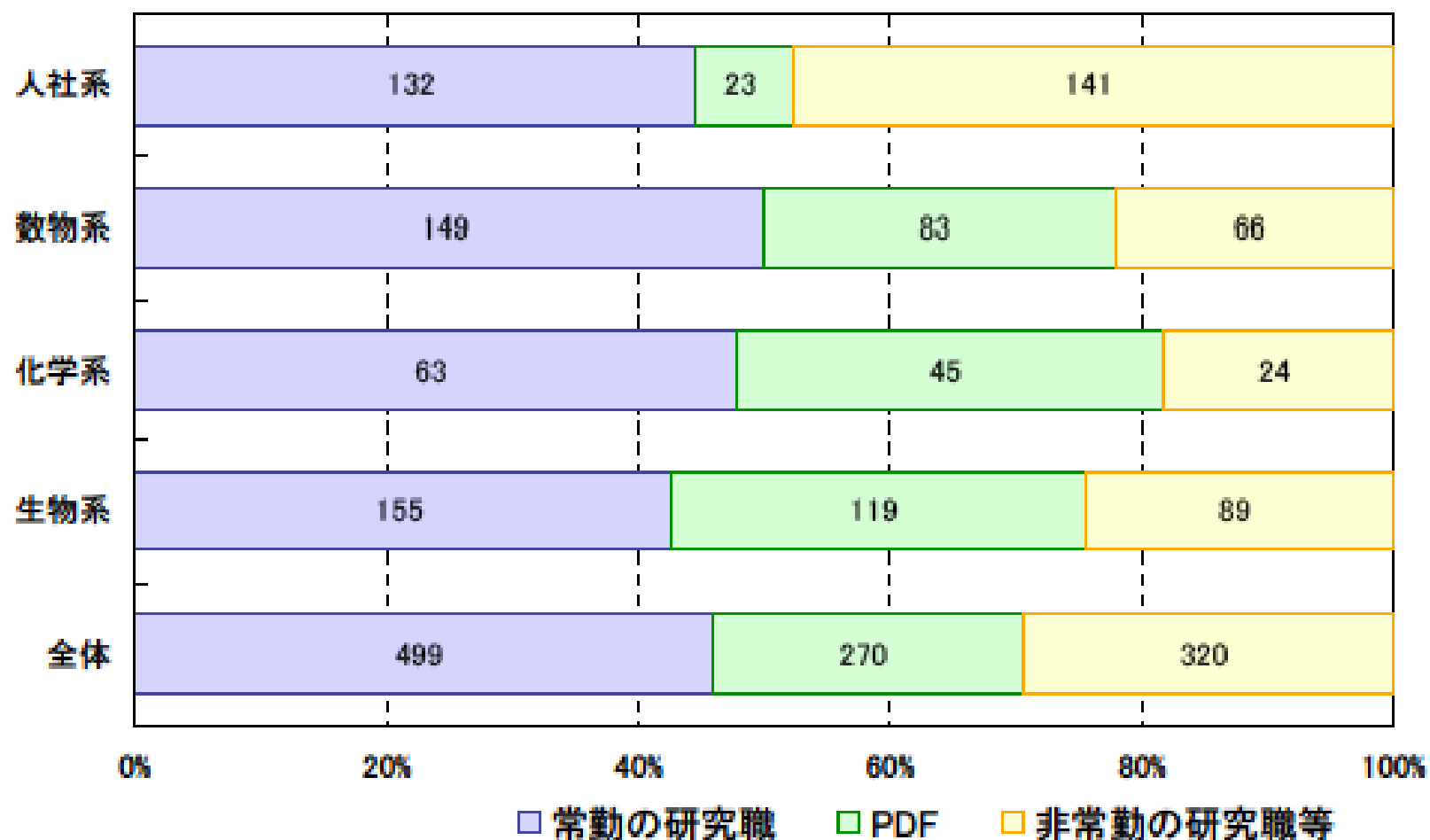


図8 平成17年度終了者(終了直後)の系別就職状況

